

## バイキング・エデン乗船（3）キャビンとサービス

2025.2.24 池田良穂

「バイキング・エデン」のキャビンは、すべてベランダ付きのツインルームで、家族用の3~4人部屋はありません。一番小さなベランダクラスの部屋でも約25m<sup>2</sup>あるので、結構広い造りです。ペントハウスクラスは31~38m<sup>2</sup>、エクスプローラー・スイートは70~108m<sup>2</sup>、オーナーズ・スイートは135m<sup>2</sup>の広さがあります。エクスプローラー以上の部屋の浴室にはバスタブがありますが、それ以下の部屋はシャワーだけになっています。

筆者らは、一番安いベランダというカテゴリーのキャビンを予約していましたが、乗船直前にペントハウス・ベランダにランクアップされるという連絡がきました。6デッキのブリッジ背後にある左舷側の部屋です。ベランダが今まで乗船した船のものより広くて、シップウォッチングに最適でした。石垣島と廈門では、船が右舷（ポートサイド）を岸壁側にして着岸したため、港を入出する船を部屋のベランダから撮影することができて大満足でした。

部屋の冷蔵庫には、缶のソフトドリンク、ビール、洋酒のミニボトルが入っていて、シャンパンも1本入っていました。これはペントハウス以上のキャビンの客への特典とのことです。部屋のランクアップをしていただいた上に、シャンパンまで頂いて恐縮しました。シャンパン以外は消費すると毎日補充されており、料金はかかりませんでした。水は専用の容器に入っており、湯沸かし器、コーヒーメーカー、紅茶・日本茶のパックが部屋に用意されていました。

トイレは洗面台、シャワー室と一体となっており、トイレはクルーズ客船では主流のバキューム式で、日本船のようなウォシュレットは付いていません。

部屋の清掃は、毎日、朝夕2回で、コロナ禍以降に1回に減らした船もありますが、同船では以前のクルーズ客船のサービスレベルを維持しています。2人のインドネシアのスチュワードとスチュワーデスが担当でした。きっちりとした仕事で、部屋はいつも快適でした。



ペントハウス・ベランダのキャビン。



ベランダ



冷蔵庫の中身。シャンパン、ビール、ソフトドリンクが入っていました。



シャワー室とトイレです。